

1. 令和3年度を振り返って

コロナ禍で始まった令和3年度は、年度開始早々の4月21日からの緊急事態宣言発令に始まり、約7ヶ月は自治振興センターの利用制限や事業中止・自粛などで活動が進みませんでした。

特に、令和4年に入ってから、オミクロン株の感染拡大による蔓延防止等重点措置期間のために、その挽回もできず、昨年度に引き続き不完全燃焼で本年度が終わる見通しです。

当振興区は、令和3年度から地域内外との交流をベースとした「まちづくり」を行うことを目指した戦略的な事業として「ガーデニング教室」「しいたけ栽培講座」「パークゴルフ&ウォーキング教室」をスタートするとともに、外部への発信力を高めるために、ホームページの改善やSNSでの発信開始、地域外向けの広報誌の発行を開始しました。



R3.5月 春花の植付け



R3.10月 口和満月マルシェ

いずれの事業も、順調にスタートしましたが前述のコロナの影響で、多数の皆さんにご参加いただけなかった事業や、大幅に開催回数を減少せざるを得なかったもの等あり、令和4年度以降も依然として不透明な情勢で推移すると思えますが、各々の事業の中身の充実を図りながら、最善を尽くしつつ着実に活動を進め、まずは収穫祭（仮称）の成功に向けて取り組むことを考えております。

トップ つながる、やほこ 定年促進 広報 八銚自治振興区とは 施設案内・利用料金 アクセス 利用のせ

ヒバゴンビレッジ やほこ

利便、つながる。

広島、岡山、島根へとアクセスしやすい

ローカル線に揺られて、心もほぐれる

八銚自治振興区

〒729-5601
広島県庄原市葛城町小島原615番地1
TEL・FAX (0824) 84-2363
E-mail yahoko.jichi@u-broad.jp

八銚自治振興区のホームページ



R3.10月 ブルーベリー植樹会



2. 令和4年度の計画策定に向けて

1月からの新型コロナの猛威により、広島県は1月8日から3月6日までの蔓延防止等重点措置期間としました。これにより1月～3月までの八幡自治振興区の事業は中止・延期を余儀なくされました。特にオミクロン株による感染は極めて強いようで、庄原市では1～2月末の2ヶ月で258件の患者発生となっており、昨年1月～12月まで（108件／年、月平均9件）のペースの14倍を超えるスピードで感染が広がったわけです。

このような感染リスクの高まりを受け、今後の自治振興区事業を安全かつ適切に実施していけるよう以下の対応を行って参ります。

（1）感染防止対策の強化

従来は玄関で「体温の測定と手の消毒」を行い、会議室に「間仕切パーテーション」を設置して感染予防しておりましたが、このたび、2階交流室等（生涯学習に使用）に間仕切パーテーションを増設するとともに、1・2階の各部屋にスプレー式アルコール消毒液と除菌用ペーパーを配置しました。



（2）感染実績を踏まえた計画づくり

過去の感染実績をみると、大型連休中からその後に感染が集中して発生し、緊急事態宣言等も発令されておりますので、原則として年末・年始、ゴールデンウィーク(4月後半～5月) 8月のお盆休みの直後を避けた「4月、6月下旬から7月、10月～12月」にメインの事業を行うよう計画する予定です。（下図、参照）

4月	5月	6月～7月	8月～9月	10月～11月	12月	1月～3月
・R3年度持越し事業		・オープンガーデン ・GG大会 ・視察研修等		・(仮称)収穫祭 ・視察研修等		
状況をみながら、通常の生涯学習活動等を行う						

（3）区民の皆様へのお願い

新型コロナ禍で、安全に過ごしていくためには皆様一人一人がお互いに「手洗い、マスク着用、手指消毒」体調異変時の早期受診を行うなどし、また施設側では環境面での3密回避を基本にして、お互いに感染しない状態をつくるのが大切です。皆様は日頃から健康管理に取り組んでおられるとは思いますが、以下の点について自己管理を行っていただきたくお願いします。

- ① 朝晩の血圧測定、体温測定、体重測定を行い、普段の自分の標準を覚え体調異常を知るキッカケにする。
- ② 体がだるい、喉の痛み、息苦しい、発熱等がある場合は、医療機関に事前に連絡を入れ、「発熱外来」を受診する。

なお、上記等により体調に異変を感じられた場合には、自治振興区及び振興センターで実施する事業への参加を自粛してください。

3. 西城町自治振興区連絡協議会 情報交換会の予定

私たちが幸せに暮らしていくための必要な生活交通は確保されていなければなりません。主に山間部の河川沿いに集落が点在する八銚地域の日常の交通の殆どは自家用車に依存しているわけですが、高齢化と人口減少の進展は、運転免許を持たない方が一人暮らしになられた場合とか、運転免許を返納し自家用車で移動できなくなった場合等の交通確保や、人口増加につながる「地域出身者の、定年後の故郷での暮らし」も、高齢化で車が運転できなくなった後が心配で、移住につながりにくいなど大きな課題です。

地域包括ケアでは在宅での医療・介護を進めておられますが、社協の主催で行われている「暮らしと安心の会」では、夜間に救急車の付添いで病院に行った帰りのタクシー等がなく困っているなど、その仕組みを支える交通等も課題となっております。

当区においては、昨年11月に開催された庄原市議会の「市民と語る会」の協議テーマとしてこの交通問題も取り上げ、出席された議員の方々にご理解いただきました。

この課題は八銚のみならず、高齢化や人口減少が進む西城町全体の課題ですので西城町自治振興区連絡協議会（以下「西城連協」）でこの生活交通をテーマに情報交換会を行う予定です。



この度の情報交換会には西城町の市議会議員の方等にもご出席いただける見通しで、大変心強く思っているところです。

コロナ禍、密を避けるために出席人員の調整等もあり得るかもしれませんが、具体的には西城連協事務局から自治会関係者にご案内があろうかと思っておりますので、お知らせしておきます。

4. 地域マネージャー業務の進行状況

(1) 交流事業関係

- ①「しいたけ栽培」では昨年度110本の植菌を実施し、2年目を迎え、今年の秋に収穫が期待されます。また、今年4月にも植菌を計画し現在進行中です。植菌や収穫等の業務を体験学習や仮称「収穫祭」等に反映し、交流事業へつなげる計画をしています。
- ②「パークG&ウォーキング」クロカンを利用し、パークゴルフを昨年度は3回開催、またウォーキングにおいては各自治会単位でコース設定に取り組み、第1回目がスタートできました。来年度は各自治会のコースにチャレンジし、地域の方々との交流にも活用計画中です。
- ③「JR利用促進事業」計画を3案 東城「フラワーショップHANA TOJYO」、島根県出雲八代の「布勢公民館」、島根県出雲大東「つむぎ」の視察を計画し、来年度取り組む予定です。

(2) 高齢者の生きがいづくり活動（野菜販売関係）

- ①皆様にはタマネギ他野菜の栽培にご協力いただき、ありがとうございました。今年のタマネギはベト病により苦戦しましたが、お陰様で1.5tonの目標に対し、1.15tonの77%の供給ができました。
- ②その他の野菜は142千円の販売となり、年間目標15万円に対し94%の達成となりました。また生産農家数は令和2年度17軒から、令和3年度は8軒増加の25軒となりました。
- ③令和4年度は、生産農家は5軒増加の30軒、タマネギ供給は1.5ton、その他の野菜は17万円の販売を目指し取り組む予定で計画中です。また、生産農家の皆様方の交流会等も実現できれば良いなあと思っています。令和4年度も引き続き皆様方のご協力をいただきながら、頑張りたいと思います。宜しくお願いします。

(3) 自主防災、防犯関係

- ①自主防災組織づくり 振興区全体での取り組みは広範囲なので、現在、八銚落合自治会協力の元、他振興区の事例や防災組織に関する資料を提供し、自治会独自で避難時の安否確認、通報機能が進められている状況です。
- ②防犯 主に一人暮らしの高齢者宅等に防犯カメラの設置推進をする計画です。

5. 「地域のこの人」紹介・・・（油木自治会）小笠原フミエさん

しばらくの間「地域の小学生」を紹介させていただきましたが、前回発行の「やほこ振報」でひととおり小学生の紹介が終わりましたので、再び地域で活動されている方の紹介に戻らせていただきます。

そこで今回は、当振興区の「ガーデニング教室」の代表者をされている小笠原フミエさん（西城町油木）をご紹介します。

小笠原さんは生け花（池坊）の師範をされておられますが、そもそも生け花をはじめられたきっかけは、約60年前にさかのぼった中学校（八銚中学校油木分校）時代にあるとのこと。当時の女子生徒はお茶と生け花を全員習われていたそうで、その生け花に使う花は自宅から中学校まで片道約3kmの山越えの道や野原等で採取した草花を使われていたそうです。そうしたなかで四季の移ろいを感じながら自然の草花を生けることが好きになられたとのこと。

学校卒業以降もずっと生け花を続け、後には京都の家元に20年くらい通われるなど修行を重ねられ、平成6年に油木へ戻られてからは、西城の花屋さんをメインに教室を開かれているそうです。

生け花で大切にされていることは「自然の中で生きている草花に触れて、絶えずその感性を高めていくこと」と語られました。またそのことは、生け花に限らず何についても「本物に触れることを第一にして、心豊かになること心がけている」といわれ、振興区の「ガーデニング教室」においても同様に「感性を磨くために、本物に触れられるし、参加者の方にも本物に触れて喜びを感じていただければ」と願われていました。

当振興センターの玄関には四季折々のお花の展示もしていただいております。小笠原さんの元気をもらえる素敵な作品をぜひご覧ください。

今回は取材にご協力いただき、ありがとうございました。



小笠原フミエさんと花作品

6. 令和3年度の「市への要望事項について」に対する市の回答

令和3年度11月1日に庄原市西城支所へ提出した要望に対する市の回答が3月2日にありましたのでお知らせします。

要 望	回 答
道後山駅舎玄関口の扉等修理の件	庄原市全体の駅舎緊急修繕費予算（5万円）の残額で、何箇所か修繕できるよう所管課に依頼しています。
芸備線「備後落合発→新見行」列車の増便について	芸備線の一部区間「庄原市～新見市」について、今後の在り方や利用促進について関係自治体で協議組織を設け協議を行っている。また、市独自の利用促進イベント等も行い芸備線を重要課題として取り組んでいる。ダイヤ改正についても所管課で調査を行っています。
国道183号、西城トンネル南の西城川沿いの拡張について	現在、広島県が奥名の大富大橋から西城トンネル南の区間で、道路拡張に向け測量調査を行い、引続き西城川の部分の設計を行っています。

7. 令和4年度の地域マネージャー・職員体制

令和4年度の八銚自治振興区の地域マネージャー・職員体制は以下のとおりとなりました。

皆様のご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

地域マネージャー

職 員

山上浩司さん

- （担当業務）
- ・チーフマネージャー
 - ・JR利用促進
 - ・防災、防犯



今田容子さん

- （担当業務）
- ・高齢者生きがいづくり
 - ・交流前提事業



今村舞由美さん

- （担当業務）
- ・情報発信
 - ・コロナ時代の事業企画
 - ・定住関係



事務局長



柳生光明

事務局員



伊折紗也加